



深川社協だより

ふかわ

第48号

2017.1.25

■ 編集発行 深川地区社会福祉協議会広報部会 ■ 発行人 向井文武



10月15、16日亀崎神社秋季例大祭が陰地・奥迫地区の担当で行われました。本祭の16日は各地区から子ども神輿が神社に奉納され、町内は子ども達の元気のよい声で賑わいました。【中村敏幸さん(深川3丁目)撮影】



新年のご挨拶

深川地区社会福祉協議会

会長 向井文武

皆様にはお元気で新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。今年が穏やかで幸せの多い良い年でありますようお願い申し上げます。

皆様には平素より地域福祉活動に温かいご理解とご協力を賜っておりますことを感謝申し上げます。

◎地域災害復興義援金募金のお礼とご報告

昨年四月十四日熊本地震、十月二十一日鳥取県中部地震の発生により多くの方々が災害に遭われ、深川地区社協・自治会連合会において災害復興義援金をお願いしましたところ、熊本地震には百四十一万八千円、鳥取地震には九十二万九千三百五十五円の義援金が寄せられました。これもひとえに皆様の助け合いと温かい支援の気持ちの賜物と存じます。お預かりした義援金は、安佐北区社協を通じ、市社協中央共同募金会にお届けいたしました。被災地・被災者の一日も早い復興をお祈り申し上げます。お礼と報告をさせていただきます。またこの地においても何時災害が起きるとも限りません。災害に強い「まちづくり」と「備え」「援助」を心がけましょう。

◎今年の深川地区社協の取り組み

高齢化・少子化・人と人との繋がりの希薄化等により、今日の福祉環境は著しく変化しつつあります。この変化に対応するための「自助・共助・公助」の力をもって市や関係機関と連携し誰もが安心して心豊かに暮らせるまちづくり、地域づくりを推進します。

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

福寿会の皆様の協力で「しめ縄」作りに挑戦

～ 深川小学校の P T C 活動報告 ～

深川小学校 P T A 役員 沖 隆義

昨年の 12 月 14 日、深川小学校体育館において 5 年生の P T C 活動として「しめ縄」作りを実施しました。深川学区福寿会の皆さん 16 人を講師としてお招きし、5 年生 78 人と保護者を合わせ約 140 人に、縄のない方を指導していただきました。

まず最初に、中深川福寿会の竜門さんより、縄のない方の説明を受け、その後 16 のグループに分かれ福寿会の皆さんに教えていただきながら進めていきました。

縄をなつたことがない子どもや保護者がほとんどであったため、なかなか思うようにいきませんでした。それでも福寿会の皆さんに優しく手伝っていただいたおかげで、最後には何とかしめ縄(のような形)ができました。中には、なつた縄を輪っかに見立て、オリンピックの五輪を模した作品を作った子どももいました。

福寿会の皆さんのおかげで、参加者一同、いい思い出を作ることができた一日となりました。



みささの会 (上庄・下庄・尾和)

参加者が寸劇をして楽しみます

下庄福祉委員 大瀬戸紫苑子

「みささの会」では年間活動計画を決めて、毎月第 3 火曜日に開催しています。活動内容は季節にあつた行事や、身体を動かしたり歌を歌ったり、お話を聞いたりしています。

当日は始めに体操、次に誕生日の人のお祝です。役員で作つたキャンディーのリースをプレゼントします。何歳になつても誕生日はうれしいものです。皆さんにこにこ顔です。「みささの会」では音楽療法士の先生による指導で 6 月と 11 月に昔なつかしい歌、季節の歌を合唱したり、歌詞の一字を抜いて歌つたりと、脳の活性化もかねて大きな声で歌います。

最後には先生持参の衣装を着けて参加者が寸劇をします。6 月は「寛一お宮」11 月は「東京のバスガール」でした。昔とつた何とかで、皆さんなかなかの芸達者です。腹をかかえて大笑いで、顔のしわも増えました。



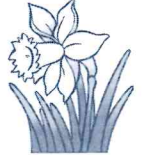
写真は「寛一お宮」の寸劇の様子



案内の配布から出欠のまとめ、買い物、会場の準備など大変な手間ですが、終わつてから皆さんから「楽しかったよ」「また来月ね」の声を聞くとお手伝いしてよかつたなあと思います。しかし残念ながら男性の参加者がいません。男性の皆さん、今年は誘いあつてサロンにご参加ください。楽しいですよ。

深川の人を

たずねて



お陰様で充実した毎日を過ごして下さいます

増田 寿枝 (深川 6 丁目)

三が日明けの一月四日、中郷の自宅に増田寿枝さんを訪ね、お話を伺いました。

寿枝さんはお隣の安佐南区から昭和二十八年十月、今では考えられないことですが「中郷の増田」という家に嫁に行け! という父の一言で嫁いで来られたとのこと。

実家で農業をしていたということもあり、会社員のご主人が出勤された後は本家の人と一緒に田んぼや畑仕事をこなし、食事時間になれば、お姑さんにおかずの味付けを教えてもらい、そのことがやがて近所にある西法寺での各種行事、聴聞、忘年会、仏行事などの賄いを一手に引き受けるまでに料理の腕前を上げられました。また保健所の講習を受け、店販売にも支障がない資格も取り、人気のある「寿枝さんのつけもの」などの販売も手掛けられました。

地元 JA 深川での女性部 (レディース) 理事として朝市での野菜販売、農業祭での角寿司、赤飯作りなど八面六臂の大活躍をされました。ご主人が病気で倒れられたときは、近所の人たちには本当にお世話になったと話され、病院に行っている留守に、近所の人によって畑の草取り、田んぼの畦上げなどが仕上がっているのを見た時は涙が出ました。これからは出来る限りのご恩返しをしていきますとのことでした。

楽しいこともあります。高陽公民館活動の「高陽山野草の会」に入って野草の採取と合わせ県

内、岡山、山口へと会員の皆さんと一緒にドライブと食事を楽しみ、また会員の一歩の友達の紹介で倉掛公民館活動の「夢さがし倶楽部」「芋煮会」にも入って友達の輪を広げてきました。六十歳になった頃、娘婿が「お母さん、山にのぼらないかい!」との声かけに、一も二もなく賛成し「白木山」「木ノ宗山」「比婆山」「石鎚山」「伊吹山」などを踏破し、名峰「富士山」登頂にも成功されたそうです。

これからはお寺の行事、公民館活動、農作業など一年中休みもないスケジュールを調整していくことの毎日が楽しく、ボケる暇がありませんとのこと。ただ五年前に狭心症を患ったことで、食事の栄養バランスや行動を考え、健康管理に気を付けて暮らしていきます。今年八四歳になり「現状維持」を目標に今までやってきたことをつつがなくこなしていければ幸いですとの言葉で締められました。

元気をもらって自宅を後にしました。

取材・文 福岡 寿 (中郷自治会長)



ちこ 愛のともじび

深川地区社会福祉協議会に対し、福祉事業の活動にお役立て下さいと、次の方々から香典返しのご厚志をお寄せいただきました。皆様の善意に厚くお礼申し上げます。

(平成二十八年八月〜十二月)

- | | |
|-------|--------|
| 木村 洋 | 深川 四丁目 |
| 田川雄士 | 深川 三丁目 |
| 中村めぐみ | 深川 七丁目 |
| 榎谷省三 | 深川 四丁目 |
| 荒木秀夫 | 深川 三丁目 |
| 久保田雅秀 | 深川 四丁目 |
| 岡田安央 | 深川 五丁目 |
| 福品徳浩 | 深川 五丁目 |

(受付順 敬称略)

香典・見舞返し・その他皆様の善意の募金をお寄せ下さい。お寄せいただいた募金は深川地区社会福祉事業の活動に役立てさせていただきます。

【深川地区社会福祉協議会】

65歳以上の皆様へお知らせ

広島市にお住まいの65歳以上の人の状況調査を実施いたします。3月から5月の間、民生委員が調査にお伺いいたしますので、何とぞご協力のほどよろしく願います。

皆様にご解答いただいた調査結果については、広島市において匿名化して統計処理を行った上で高齢者保健福祉施策の推進のための基礎資料として活用されます。

深川地区民生委員児童委員

深川で健康体操教室開催中です

◆健康教室ってなあに？

どなたでも参加できるように座って行う体操を紹介しています。楽しみながら身体を動かしてもらえるように、体操のメニューを変えたり、ゲームを行っています。

うちわを使った風船バレーやジェスチャーゲームなど、毎回違うことをしていますが、皆さん笑顔でワイワイ言いながらとても盛り上がります。

深川健康体操教室では、運動の後に茶話会があり、ゆつくりとお茶を飲みながら世間話をされています。

◆3つのおすすめポイント

①皆で健康

1人で運動するより、皆でした方が楽しいです。長続きします。

②友達たくさん

茶話会や声をかけ合いながら体操すると、自然に友達も増えていきます。

③無理なく参加

体操は座って行うので、体力が心配な方も安心です。時間がある時だけの参加も大歓迎です。

◆今後の展開

参加者の方から、健康体操教室を楽しみにしている、腰の痛みが減ったなどの感想をもらいました。自宅から歩いて行ける健康体操教室がない方も多いので、どんどん増やしていきたいと思えます。

■深川集会所健康体操教室

◎開催日時 第2・4木曜日

13時30分～15時

◎開催場所 深川集会所

◎参加費 200円

◎対象 概ね60歳以上

■陰地会館健康体操教室

◎開催日時 第1・3水曜日

10時～11時30分

◎開催場所 陰地会館

◎参加費 100円

◎対象 概ね60歳以上

興味のある方はお気軽にご連絡下さい

高陽・亀崎・落合地域包括支援センター

住所 安佐北区深川6丁目3-26

電話番号 (082) 841-5533

広島市よりの情報提供

下深川駅の改装について

昨年9月16日付けで、高陽地区町内会・自治会連合会が、高陽地区として都市機能を担う高陽町づくり提言書を広島市に提出しました。

町づくり提言の一つとして、JR芸備線安芸矢口駅・下深川駅周辺の改良改善を要望しました。

去る12月18日倉掛公民館に於いて、市の道路交通局都市交通部より基本構想づくりの説明会が開催されました。中に高齢者・障害者・JR利用者を対象とした意見交換会で、説明会には、矢口駅関係者10名、下深川駅関係者13名の参加者がありました。

下深川駅周辺のバリアフリー化・駅のエレベーターもしくはエスカレーターの設置の完成見込みは32年の予定とのことでした。また市側から今後の現地調査の際の協力依頼がありました。

高陽地区町内自治会連絡協議会
会長 向井文武

「広報部」からお知らせ

その昔の深川の風物や人々の生活ぶりが伺える写真をお持ちの方はありませんか。

今の人達は、くどでご飯を焚いたこと、つるべで井戸の水を汲んでいたこと、近所の人が出で田植えをしたこと、まして牛が鋤を引いていたことなどを知りません。そんな昔の生活ぶりが伺える写真を通して昭和の原風景を伝え残していきたいと考えています。

昭和の暮らしぶりが伺える写真であればどんな内容でもかまいません。社協広報紙「ふかわ」で紹介させていただきたいと思えます。お持ちであれば自治会長、民生委員、福祉委員等、社協の役員までお知らせください。

